

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽかぽか広場館林 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年3月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2026年2月16日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	主とする支援室の他にも別の部屋があり、利用者の特性に合わせて対応できる。 様々な保護者・利用者からの要望(ニーズ)に合わせた利用が可能である。	・保護者様や利用者様その日の都合や体調・情緒面を考慮して過ごせる環境を整えられます。 ・支援中の些細なサインも見逃す事のない様に関わり、見つけた際はそのままにせず迅速に対処しております。	・安心して保護者様・利用者様が利用できる様に環境整備を行い成長に合わせた有効的な使い方が出来る様に日々考慮した環境づくりに努めています。
2	様々な年齢(異年齢交流)においてお友達や職員(大人)との人との関わりを大切にでき社会性が養える。	・曜日によって。お友達が変わり、年齢も様々なので自分の年齢よりも少し上のお兄さんやお姉さんと関わる事でコミュニケーション能力や遊び方など経験できる。	さらに社会性が育めるように日々の活動・遊びの中でレクリエーション・イベントを企画し集団活動・個別活動の楽しさを提供していきます。
3	外出支援体験を通し、公共の場での過ごし方や家庭ではなかなかできない経験体験を取り入れるところ	土曜日・祝日・長期休みが中心となるが、家庭や学校・保育園などでは経験できない事・場所を取入れ経験する事で自信が付きそれぞれの場に帰って披露出来る。	外出先や室内活動で自信がついた事より感じた事振り返り意味のある活動にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間の意識統一	・具体的な支援内容を職員間で話し合う時間を設けているが、職員間の中での報連相の徹底がまだ完全ではない。 ・職員間で意見交換をする時間を設けているが、詰めの甘さがある。	業務に対し「見える化」をして、気になる些細な事でも報告連絡・相談を心掛けてより良い支援体制を構築したい。
2	個別支援計画(5領域)にもとづいて計画はされているが、実際に支援がまだ弱い。また個別支援計画書の説明の弱さも感じられる。	1人1人のお子様の特性理解・5領域を意識した支援の意識統一を行う。個別支援計画書において、それぞれのお子様の様子を捉える事が出来ているが、送迎時やお迎え時に様子等を伝える職員が偏ってしまい他の職員との接点がどうしても少なくなってしまう。	利用形態によっては週に数回、若しくは月に数回の利用者様もいる為、重要な書類や配布物など自宅に届けたり連絡取って来所して説明する等の工夫をしている。
3	利用者様の人数・異年齢のメリットもあるが、デメリットもある。また環境設備が未就学児サイズではない為不都合もある場合がある。	室内は見通しが良く、状況も把握しやすい反面、未就学児と小学生以上の利用者が同室の環境下で過ごしている為利用者様によっては落ち着かない環境になっているかもしれない。	異年齢交流の場であっても、集団遊び・個別遊びが出来る空間を作成し利用者が落ち着ける事が出来る環境を作る。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ぼかぼか広場館林				公表日	2026 年 3 月 30 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3 42.9%	4 57.1	活動に応じてスペースや散歩や職員体制を整えて、近隣の公園等へ行く計画も立てている。	遊び方や活動によっては狭さを感じる。また異年齢のメリット・デメリットがある。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4 57.1%	3 42.9%	職員の欠員が出た時も迅速に対応している。また子供の特性に合わせた配置をしている。	日々の送迎数や外出支援時など安全を考慮すると職員の数がもう少し配置数を増やして欲しい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4 57.1%	3 42.9%	安全に配慮された設備になっている。	2階建ての構造になっている為、階段の昇降安全性を考えた利用者さんにとっても工夫が必要と思う。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6 85.7%	1 14.3%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7 100%		心身ともにその時々状況に応じて2階の部屋等(個別)で速やかに対応できる部屋がある。	一部の設備においては、未就学児サイズではない為、未就学児の利用者は難しい事もある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5 71.4%	2 28.6%	出来る限り毎日の時間の中で振り返りや話し合いの場を設けている。	定期的な見直しを行っているものの会議の時間を取る事が難しい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5 71.4%	2 28.6%	連絡帳や送迎時等を利用して、お子様の様子を開所時間前・閉所時間前のミーティング等で共有に努めている。	結果を職員全体で共有する時間が少ない為ミーティング等で共有する必要がある。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7 100%		1日3回ミーティングの時間を設けている。また重要な事においては月1回の事業所内ミーティングを行う事で職員周知に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4 57.1%	3 42.9%		外部評価をしているのか現場の職員は把握が出来ていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6 85.7%	1 14.3%	毎月の動画アプリでの研修を行っている。また検討主催の研修等に参加している。	毎月の動画の研修を受けているが、業務に活かされているのか不明瞭ではある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5 71.4%	2 28.6%	毎回保護者に説明し、納得してもらった上で印鑑をいただく様にしている。	支援プログラムなど作成されているが、それぞれの記録の質を高める必要がある。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6 85.7%	1 14.3%		保護者との面談の時間を設けると良いのではないかと思う。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4 57.1%	3 42.9%	相談員さんからの基本情報をもとに職員へ伝える工夫をしている。	現場の職員さんが情報を共有し共通理解のもとに支援をしているが、個別支援計画書を見る回数が少ない。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4 57.1%	3 42.9%	個別支援計画書はいつでも閲覧できるようにしている。	口頭指示で出来ると思い込んだり視覚支援ツールや道具がある事を知らない人もいる。知っていても使いこなせない。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4 57.1%	3 42.9%	子ども達の理解度に合わせて声掛け・指示を出すようにしている。日々の観察や記録を通して子ども達の変化を把握している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6 85.7%	1 14.3%	子ども家庭庁のガイドライン・5領域をもとに作成している。家庭・併用先・学校・保育園・行政と連携をして行える様に計画を立てている。	具体的な支援内容が書かれているが、理解・実行できる職員がいる一方でまだそこまで出来る職員が少ないのが現状である。支援の質の向上に努める。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4 57.1%	3 42.9%	活動内容を定める為、ミーティング(意見交換)を行う事で協力し決めている。	明確に会議という形ではない為、今後は明確な時間を作り職員間の話し合いの実感を持たせる環境整備を検討していく。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7 100%		外出支援・室内活動・料理（食育）等、毎回同じにならない様に工夫をしている。	活動内容がマンネリ化しない様に季節・年齢全てではないが、利用者から行きたい所が出てきた際は考慮する。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6 85.7%	1 14.3%	児童発達支援管理責任者のもとに行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5 71.4%	2 28.6%	1日3回のミーティングの時間を設けて支援前に連携している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6 85.7%	1 14.3%	気になる些細な事でも報告・連絡・相談を心掛けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7 100%		毎日その日の利用者の様子を記入し記録は徹底されている。	重要な案件（検証）等については管理職のみが検証している。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7 100%		相談員さんとのモニタリング・保護者モニタリングを定期的に行い、様子を把握したうえで個別支援計画に反映させている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6 85.7%	1 14.3%	基本活動を意識した活動を行っている。	計画や活動に対しては問題はないが、職員のスキル育成不足が考えられる。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6 85.7%	1 14.3%	自発的に好きな事が出来る遊び・活動の場が整っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7 100%		相談員さんとのモニタリング・必要があるお子様については学校や関係機関も交えてケース会議を開く事も有る。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5 71.4%	2 28.6%	関係機関と連携して支援体制を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7 100%		毎週金曜日・月末月初の利用日にそれぞれの利用様の週予定時間割や学年だよりをいただき把握している。	学校・保護者との連携が整っている。スクールメールなどの活用。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5 71.4%	2 28.6%	相談員さんによるが、状況共有されている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4 57.1%	3 42.9%		相談員さんによるが、経験数が少ない為不明瞭
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5 71.4%	2 28.6%	当該地域にスーパーバイズや助言できる場（センター）設置がこれからなので現在は無い。	当該地域にも令和8年度4月1日より基幹センター設置される事になり、今後連携や支援体制の相談窓口が出来る事でより良い支援を目指す事が出来る。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2 28.6%	5 71.4%		地域行事の参加は少ない。連携体制を強化する。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7 100%		定期的に主に児童発達支援管理責任者が放課後等デイサービス部会に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6 85.7%	1 14.3%	送迎時や受け入れ時等に立ち話して程度ではあるが、対面で話しをする場を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1 14.3%	6 85.7%		保護者への研修参加は呼びかけてはいるが、行政主催の講演会などはお知らせを配布している。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7 100%		新規契約時・契約内容変更時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7 100%		保護者に確認をしてもらいサインや印鑑を設けている。また必要があればその都度保護者との聞き取りや相談を受けている。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7 100%		保護者に確認をしてもらいサインや印鑑を設けている。また必要があればその都度保護者との聞き取りや相談を受けている。	説明の時間を十分に確保する。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6 85.7%	1 14.3%	送迎を利用している保護者においては、連絡帳やLINE等のツールを使用し連絡を取っている。	相談に迅速かつ適切に対応している。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	3 42.9%	4 57.1%		交流会（保護者会）がない。開催を検討したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7 100%		苦情相談が入った際は、迅速に対応している。	保護者や関係機関に真摯に向き合い、改善策を話し合い改善させていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7 100%		毎月の通信やホームページ（ブログ掲載）等で活動内容を定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7 100%		秘密厳守取扱いルールが確立されている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7 100%		情緒面・子どもたちの特性を考慮し些細な事も見逃さぬようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7 100%		招待する等の活動や地域との交流はない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7 100%		3か月に1回それぞれの各種マニュアル等、事柄を事例をもとに話し合い・アウトプット・実技を取り入れて訓練している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7 100%		3か月に1回それぞれの事柄を事例をもとに話し合い・アウトプット・実技を取り入れて訓練している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7 100%		管理者のもと職員間で口頭での伝達で情報共有しマニュアルに沿って対応・対処している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5 71.4%	2 28.6%	アレルギー確認表を事業所の職員室に掲示し細心の注意を払っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7 100%		定期的に（3か月に1回）研修・訓練を行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6 85.7%	1 14.3%		保護者に周知されているかは不透明。 家族との連携体制を強化する
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7 100%		毎月情報共有の場を設けている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7 100%		毎月情報共有の場を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7 100%		記載された書類を保管している。 説明の上、身体拘束同意書等を提示し記入して頂く。	緊急時の対応基準や説明の統一についてはさらなる明確さが必要。また記録と説明体制も強化する。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ほかほか広場館林

公表日 2026 年 3 月 30 日

利用児童数 19人

回収数 18人

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13 72.2%	3 16.7%		2 11.1%	・日によって狭そうな時があるので2階にも行けたら良いと思います。 ・室内でボール遊びをするにはもう少し広い方が安全なのは・・・。	1階と2階の空間を上手く分けて対応をしていけるようにする。また近くに公園があるのでそちらも活用をしていく。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11 61.1%	1 5.6%		6 33.3%	・よく見ていただけている ・1日何人の職員さんなのか把握していない	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12 66.7%	2 11.1%		4 22.2%		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16 88.9%	2 11.1%			・空気の入れ替え（空調関係）を定期的に行っていただきたいです。	午前中を中心に保育室の窓を開放している。また2階の部屋の窓も開けて建物全体空気を通すようにしている。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16 88.8%	1 5.6%		1 5.6%	・言語聴覚士・理学療法士など専門的な資格を持った職員の配置をお願いしたい。	職員募集を強化していけるようにする
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	17 94.4%			1 5.6%		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18 100%					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18 100%					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	18 100%					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18 100%				・色々な体験・経験をさせていただいている。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10 55.6%	4 22.2%		4 22.2%	・平日は難しいと思うが、土曜日は色々な所に連れて行ってもらえています。 ・運動会等のイベントが良かったです。 ・現在利用している時間が短い為、実際に体感として分かりません。	長期休みであれば平日も対応ができるので、いろいろ活動を取り入れていく
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17 94.4%	1 5.6%				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16 88.9%	2 11.1%				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9 50%	5 27.8%	1 5.6%	3 16.6%	・現時点ではよく分かっていない	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17 94.4%		1 5.6%			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14 77.8%	2 11.1%	2 11.1%		・面談はないが、立ち話し程度	その日のお子様の様子を出来る限りお伝えをしている。また面談の機会も作れるように努めていく。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15 83.3%	3 16.7%				

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9 50%	6 33.3%	1 5.6%	2 11.1%	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17 94.4%			1 5.6%	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18 100%				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16 88.8%			1 5.5%	・見れない様子がブログで見れて楽しく見えています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17 94.4%	1 5.6%			
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15 83.3%	2 11.1%		1 5.6%	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15 83.3%	1 5.6%		2 11.1%	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16 88.9%	2 11.1%			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16 88.9%	1 5.6%		1 5.5%	・すぐに連絡をくれて助かります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18 100%				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18 100%				・イベントが多くて休日等も参加でき有難いです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	18 100%				